

献血のお願い

(受付場所) 中にお入り下さい
(受付時間) 9:30~12:00
13:15~16:00

本日の献血必要人数

200mL		400mL	
A型	2人	A型	23人
O型	2人	O型	26人
B型	2人	B型	23人
AB型	1人	AB型	17人

※献血年齢は17歳以上で、18歳以上は50歳以上の方

※献血前日の夜は飲酒を控えてください

※献血後は1時間程度安静にしてください

※献血は無料で、お礼の品をいただきます

※献血は健康に良く、血液が新しくなります

※献血は、命を救う大切な行為です

※献血は、社会貢献の一助です

※献血は、愛の贈り物です

※献血は、感謝の気持ちを伝えることです

※献血は、未来を創るための行為です

※献血は、希望を届けるための行為です

※献血は、未来を創るための行為です

※献血は、希望を届けるための行為です

※献血は、未来を創るための行為です

※献血は、希望を届けるための行為です

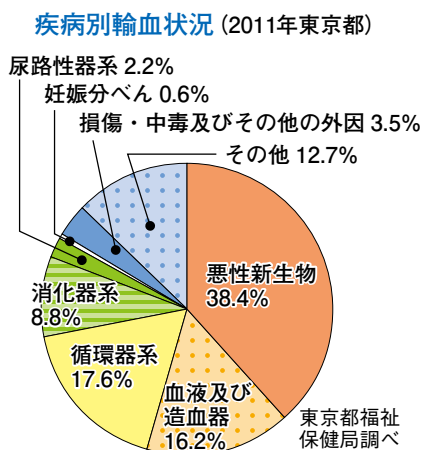


献血は を守る



とうとい命 愛の贈り物

全国で年間約525万人が協力している、大切な命を救う献血。しかし、近年、若者を中心に献血者数は減少し続け、将来、深刻な血液不足が予想されています。今回は、献血の必要性と受け方について紹介します。



輸血は、交通事故などの大きなけがや手術による一時的なものだけではなく、悪性新生物(がん)など継続的な治療が必要な病気にも不可欠です(左グラフ参照)。

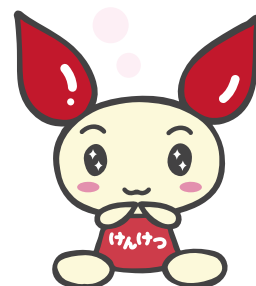
病院では、毎日多くの患者が輸血を受けていますが、輸血用血液は、人工的につくったり、長期保存したりすることができません。

このため、常に献血は必要とされています。



献血は常に必要

献血に協力してっち!



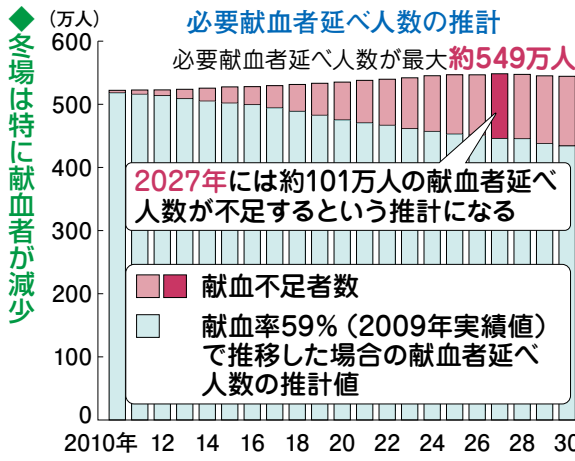
献血キャラクター
「けんけつちゃん」



献血者が減少

輸血を受ける人の約9割が50歳以上です。今後も少子高齢化により輸血を必要とする高齢者がふえ続け、献血を担う若者は減少します。

そのため、特に若者の献血がますます重要になりますが、この状況に反して、10〜20代の献血者は、10年前に比べて35パーセントも減少しています。若者の献血がこのまま減り続けると、2027年には約101万人分の血液が足りなくなると推測され、危機的な状況になる可能性があります。(左グラフ参照)。



◆冬場は特に献血者が減少
冬場の1〜3月は、インフルエンザなどが流行して体調を崩したり、薬を服用したりする人が多くなるため、献血者が減少します。



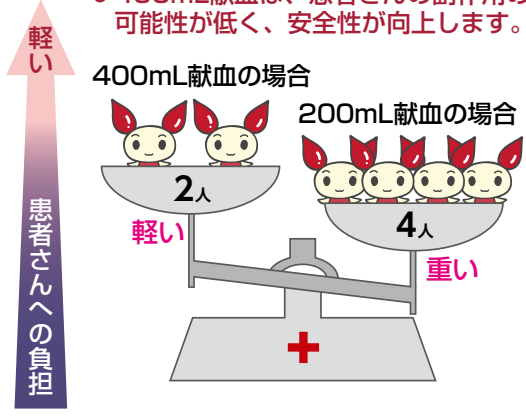
400mL (ミリリットル) の献血にご協力を

献血は、400ミリリットル献血と200ミリリットル献血、成分献血の3種類があります。

現在、輸血用血液は献血によって賄われていますが、医療現場が必要としている血液製剤の大部分は400ミリリットル献血と成分献血からできる製剤です。A・O・B・ABやRhなどの血液型が同じでも、血液は一人一人微妙に違います。免疫反応による重大な副作用や、肝炎などの輸血後感染症の危険性を減らすためにも、できるだけ少人数の献血者による血液を使うことが望まれます。

輸血を必要としている患者の安全のために、採血基準を満たしている人は、ぜひ400ミリリットル献血にご協力をお願いします。

◆400mL献血は、患者さんの副作用の可能性が低く、安全性が向上します。



献血ができる基準

◆献血ができる人
献血する人の安全と、その血液を輸血する人の安全の両方を守るため、

○16〜69歳の健康な人(65歳以上の人)は、60〜64歳の間に献血経験がある人で、左表の採血基準に該当する人
◆献血ができない人

★服薬中の人は、服薬目的により医師が可否を判断しますので、薬剤名がわかるものを持参してください。

献血方法別の採血基準

項目	全血献血		成分献血	
	200mL 全血献血	400mL 全血献血	血しょう成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%以内)	400mL以下
年齢	16〜69歳※	男性：17〜69歳※ 女性：18〜69歳※	18〜69歳※	男性：18〜69歳※ 女性：18〜54歳
※65歳以上の人の献血は、60〜64歳の間に献血経験がある人に限ります。				
体重	男性：45kg以上 女性：40kg以上	男女とも 50kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性：12.5g/dL以上 女性：12.0g/dL以上	男性：13.0g/dL以上 女性：12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	—		15万/μL以上	
年間献血回数	男性：6回以内 女性：4回以内	男性：3回以内 女性：2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して血しょう成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性：1,200mL以内 女性：800mL以内		—	

献血の間隔表

今回の献血	200mL 全血献血	400mL 全血献血	血しょう成分献血	血小板成分献血※
200mL 全血献血	—	—	—	—
400mL 全血献血	—	—	—	—
血しょう成分献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます	男性は12週間後・女性は16週間後の同じ曜日から献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます	—
血小板成分献血※	—	男女とも8週間後の同じ曜日から献血できます	—	—

※血しょうを含まない献血をした場合、1週間後血小板成分献血ができます。ただし、4週間に4回以上期間をあけてください。

- × 3日以内に出血を伴う歯科治療をした人
- × 一定期間内に予防接種を受けた人
- × 6か月以内にピアスの穴をあけたり入れ墨を入れた人
- × 心臓病・悪性腫瘍・血液疾患・ぜんそく・けいれん性疾患・脳卒中など特定の病気にかかったことのある人
- × 4週間以内に海外へ行った人
- × 輸血歴・臓器移植歴のある人
- × エイズ、肝炎などのウイルス保有者、クロイツフェルト・ヤコブ病の人、またはそれと疑われる人
- × 妊娠中、授乳中の人 など